

保護者各位

## 「自己評価のご報告」

今年もコロナ禍の一年となりました。そして、休園や学級閉鎖、時間短縮保育など、皆さまにご迷惑をおかけし、申し訳ございませんでした。

さて、先日はお忙しいなかアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。集計ができましたので、まず「保護者アンケート結果」、次に「職員自己評価まとめ」、最後に「園としての自己評価」をさせていただきます、ここにご報告申し上げます。

## 「保護者アンケート結果」 回収率：約75% (%)

No.	項目	はい	いいえ	どちらとも いえない
1	当園の保育理念・保育目標について理解していますか	80	5	15
2	お子さんの気持ちを大切にしていると感じますか 保育士に気軽に相談できると感じていますか	94	2	4
3	職員の言葉遣いや態度、服装などが不適切だと感じることはありますか	22	75	3
4	保育園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	98	0	2
5	安全対策や感染症対策が十分取られていると思いますか	88	5	7
6	お子さんが怪我をしたり、体調が悪くなったときの職員の対応は信頼できますか	98	1	1
7	保育所で提供される食事・おやつはお子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	98	1	1
8	不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員はきちんと対応してくれていると思いますか	88	5	7
9	当園に満足されていますか	91	2	7

- ・**項目1**に関しましては、8割の方のご理解をいただいておりますが、反面、2割の方に届いていないという現状がわかりました。保育理念や保育目標は、当園が目指す保育の軸といえるもので、職員はこの目標を軸として計画を立て、保育計画に落とし込み、子どもの主体性を重んじながら、年齢に応じた保育（活動）を展開できるよう努めております。今後、保育理念や保育目標が、保育を通して保護者の皆

さまにしっかり届くよう工夫してまいります。

- ・**項目 3**につきましては、「はい」とお応えになられた方が、全体の 22%いらっしゃいました。また、「以前は、その日によって職員の機嫌や態度が変わり不快な思いをした。」とご記入された方がいらっしゃいました。昨年度のこととして記入されていますが、申し訳ございませんでした。今一度、職員全員が自らを振り返る機会を設け、改善に努めてまいります。尚、不快に思われた際は遠慮なさらず、その場で施設長・主任等にお声かけください。

- ・**項目 5**につきましては、保護者の皆さん同様、総ての職員がオフの時間も含め、気を付けて行動していることだと思います。コロナに関しましては、今年初めて急な休園・学級閉鎖・時間短縮保育などの対応をさせていただきました。このような判断だけでなく、コロナに関する件につきましては、国からの通達や要請、厚生労働省・逗子市のガイドラインなどに則り、法人本部や逗子市保育課・鎌倉保健所と協議し、地域や当園の現状を含めて職員と検討し、施設長が最終決定をしております。

また、配信メールでのお知らせが遅い時もあり、申し訳ありません。閉園間近の時間や休日にご連絡をいただいた場合、各関係機関への連絡が平日の日中よりスムーズにはいかないこと、消毒作業に時間を要することなどの理由で、お時間をいただくこととなります。

安全面に関しましては、まず、園舎内色々な場所のドアが不調だったため修繕しました。また、外門扉につきましては、「とても心配」といったご意見もいただきました。門扉は戸外用の基盤・部品を使っておりますが、強風の日や寒さの厳しい日に不調になることが多く、これに加え 2 月は園庭工事の振動によって微妙にズレ、不具合を起こすことがありました。どちらにしてもご心配ご迷惑をおかけして申し訳ございませんでした。様子によって今後検討してまいります。保護者の皆さまにおかれましても、外門扉はその都度確実に閉めていただくようお願い致します。

当園は創設 40 年を超えます。途中途中手を入れておりますが、保護者の皆さまも建物の古さは感じていらっしゃると思います。危険な箇所はできる限り早目の対応を心掛けながら、「古さも好き」と言ってくださった保護者のお気持ちも大切に、今あるものを大事に活用していきたいと思っております。

- ・**項目 8**についてです。12%の方が「いいえ」及び「どちらともいえない」を選択しています。上に記載した項目 2 と少しリンクする所があるのかと思っております。保護者のおはなしにきちんと耳を傾けること、場合によっては園として難しい事もあるかと思っておりますが、その際でも理由の説明などきちんとした対応をしていけるよう、研修や勉強会、施設長面接などを活用し指導してまいります。

- ・**項目 9**については、9 割以上の方にある程度満足頂いている結果となりました。それは園といたしましても嬉しい結果です。ありがとうございます。

制度上、保育園という所は、必ずしも第一希望でない園でも利用せざるを得ないものですが、それでも「入って良かった」と思っただけけるよう、今後も努めてまいります。

- ・**項目 10**について、沢山のお言葉やお気持ちをいただきありがとうございます。

ご指摘いただきましたが、「当園の売り」といったことは本来保育園から発信するものだと思っております。ただ現状をみますと、それをしっかり発信できているのかといった疑問があり、今後の当園の

在り方やPR方法などを模索する上で、参考にさせていただこうと、現在通っていらっしゃる皆さんのお声をいただきたく、お願いした次第です。その経緯を記載せず、大変申し訳ございませんでした。また、ご意見やご要望、苦情といったものを排除しようといった主旨ではありませんでした。誤解を招くかたちとなり、申し訳ありませんでした。

当園は、昭和53年（1978年）10月1日に開設しています。設立当初より、自然に囲まれた環境を活かし、「食育」といった言葉が生まれる40年以上前から、子どもたちと一緒に畑で野菜などを育て食し、自然の有難さや厳しさを伝えてきました。体調さえ良ければ、戸外で伸び伸びとあそび、自然（物）に触れながら様々なことを遊びを通して学んで育っていった欲しいといった思いです。また、混合保育・統合保育といったものを取り入れ、年齢だけで子どもをみるのではなく、ひとりひとり育ちが違うことを認め、大切にしたい保育を基盤としています。このような保育を実現させていくため、職員は自分の担任クラスだけでなく、全園児の先生であることを心がけ、日々の保育にあたっています。時代とともに変化したこともありますが、上記のようなことが設立当初から40年以上もの間、桜山保育園が大切にしてきたものであり、皆さんに知っていただきたいと職員一同認識しております。今回のこのアンケートにより、保護者の皆さまと職員の認識がほぼ同じであったことがわかり、安心いたしました。今後も、掲げている保育目標を軸に、今ある環境を活かした保育を進めてまいります。

以下、皆さんに頂いた内容がある程度の項目ごとにまとめ、3～4点ずつに絞らせてお伝えします。

#### <保育・活動内容について>

- \* 自然に囲まれた環境を活かし、戸外で伸び伸びと遊ぶところ。
- \* 四季折々の行事を取り入れているところ。
- \* 畑での栽培、クッキング等を取り入れているところ。
- \* 他の年齢のお子さんと触れ合える“混合保育”や、逗葉高校生との触れ合いがあるところ。

#### <環境について>

- \* 自然豊かな環境。
- \* 園庭がふたつある他、2階にはテラスもあり、子どもたちが遊べる所が多い。
- \* 駐車場が広く、並木や富士山がみえるところが良い。
- \* 高台にあるので、津波の心配がない。

#### <職員の対応について>

- \* 子ども一人ひとりをよくみしてくれる。
- \* 職員同士の仲が良く、元気で生き生き、笑顔いっぱいなところ。
- \* 前向きになれるような声かけをしてくれること。
- \* 他クラスの職員も名前を呼んでくれたり、園での様子などを話してくれるところ。

#### <行事について>

- \* 行事ひとつひとつが良く考えられており、子どもにとって良い経験になる。

\*季節ごとの行事を大切にしているところ。

\*発表会については、飾り付けたものではなく、子どもの頑張りをそのまま見せてくれるところ。

<給食について>

\*給食が毎日手作りで、美味しそうである。(実際、本当に美味しいです！)

\*栄養やバランスを考えて提供してくれていること。

\*アレルギーなど、その子に合った対応をきちんとしているところ。

<その他>

\*安全対策に加え、感染対策もしっかりしてくれていること。

\*古い感じの園舎もそれなりに良い。

その他として、記述欄にいただきましたご意見ご要望をご紹介します。

①なかなか難しいと思いますが、乳児クラスももっと外に出る機会があるといいなと思います。いつもものびのび遊ばせて頂きありがとうございます。

②自然に囲まれているのでせっかくならもっと自然に近い活動を沢山してほしいです。

★コロナということもありますが、今年度は第2園庭の水はけの悪さが一番の原因だったとされます。年度当初より改善の為に動いてまいりましたが、昨年度末に施工した業者との話し合いがなかなか進まず、約1年間かかってしまいました。誠に申し訳ございませんでした。新しい砂場も出来上がりましたので、今後は沢山戸外遊びが楽しめることと思います。また、自然に近い活動と言ったことに関しましては、具体的なことがわからず申し訳ありません。しかし、今回のアンケートでみなさまからいただいた桜山保育園の良さと、職員がこの保育園の良さとして継承してきたことが同じであったということが明確になりましたので、今後に繋げていきたいと思っています。

③「2月さくらだより」より、懇談会が中止となったが、以前から決まっていたことでもあり、予めスケジュール調整をして工事を始めたりはできなかったのか。

新年度に向けて新たに準備するもの、決まりごとなど不安な点もあるため、早目に知らせてほしい。

★本当に申し訳ございません。職員間でも色々検討し、このような決断をいたしました。それに伴い保護者の皆さんの不安などを考え、通常よりも早めにお知らせを配布することや見本展示をすることなど、おたよりでもお知らせしたと思います。工事の時期に関しましては、以前に施工した業者、新たに施工をお願いした業者との折り合いがなかなかつかず、また、行事なども考慮した結果、2月が最善であると判断いたしました。ご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございませんでした。

④「まち comi」の活用について、今回の工事出入り口変更のお知らせのように、登降園場所の変更についても活用をしてもらえると助かる。

★保護者の皆さまが朝、お子さんに手を振り振り走って行かれたり、走ってお迎えに見えたり・・・そんな光景を拝見していますと、ごもっともなご意見だと感じます。その反面、子どもたちの活動

の様子や衛生面的な理由によって変わることも沢山あり、その都度の配信は可能か・・・と悩むところ。今後、検討してまいります。

⑤入った当時の発表会、運動会の会場はもちろんのこと、内容、質が本当にすばらしかった。大きい子たちはさか上がりなど・・・。その時は本当に満足していました。年長のうたや合奏はおどろくほど上手でした。がんばってがんばって出来るかどうかといったものでした。昨年くらいから何だこれは？という思いはあります。

★ご意見ご感想ありがとうございます。保育園における行事への取り組み方につきましては、どの園でも本当に色々なご感想ご意見をいただくところではあります。

桜山保育園は、「お遊戯会」と他園が言っていた時代からすでに「生活発表会」と題し、日頃の保育の中で培ってきものをお見せするといった信念で行事に取り組んでおります。そこには、上に記載しましたが、混合保育・統合保育といったものがあり、一般的な成長発達で身に付けるとされることを、全てのお子さんがその年齢でできるか？というところではなく、お一人お一人の育ちが違うという事。そして、それは、大きな意味で障がいをお持ちのお子さんと同じと言った考え方で。また、近年は「子どもの主体性」が重要視され、保育所保育指針にうたわれています。このような流れがあり、それに加え、近年はコロナ対策といったことも関連していると考えます。以前は、クラスのお子さんが毎日殆ど出席する中で、行事に臨むことができました。しかしながら今は、何人ものお子さんが欠席の中で、行事に向かっていかなければならないため、職員は本当に苦悩しています。それでも行事を通して、お子さんの成長を保護者の皆さんと分かち合いたいという思いで、保育の中で楽しんできたこと、経験してきたことを形にしてお見せするという事で取り組んでいます。来年度、どのような一年になるのか・・・わかりませんが、(頑張る経験も必要ですが) 苦しんで取り組む行事ではなく、楽しい思い出に残るような行事への取り組み、強いては保育園生活になるよう、取り組んでまいりたいと思います。

※その他、「園長・主任の2名が異動となり不安になった」といったご意見もいただきました。誠に申し訳ございませんでした。法人本部にも伝え、少しでも安心してお子さんをお預けいただけるよう、今後も努めてまいります。宜しく願い申し上げます。

今回皆さまから頂いたものは全職員で読ませていただき、当園の良い所として保育に活かし、地域に発信していけるよう、そして保護者の皆さんに「桜山保育園は〇〇がすごい！」と地域の方に宣伝していただけるよう努めてまいります。

皆さまには、たくさんたくさん記入していただき、本当にありがとうございました。この書面では、ある程度まとめた形でご紹介させていただいておりますが、全てをご紹介したい思いです。そこで、皆さんからいただきました文章総てをファイリングし、正面玄関(ご意見箱となり)に設置いたしましたので、ぜひご覧いただきたいと思っております。

#### 「職員自己評価まとめ」

常勤職員に実施した自己評価のまとめです。今年度も7項目について、各自が一年を振り返り、自己評価を行いました。

今年度もコロナ禍での保育が続き、子どもたちにとって安全な環境を整えることを重視してきました。コロナ対策によって制限されることが多く、本来の保育園生活で楽しめることが少なくなっていますが、この環境を受け入れたうえで、悩みながらも今できることを考え、工夫しながら保育を進めてきた様子が伺えます。一年一年をそれぞれが振り返り、今後も職種を越えて互いに刺激し合い、協力し合っていきたいと思います。

#### 子どもの最善の利益を考慮する（声かけ・言葉遣いなどを含む）

- \*何を伝えてきているのか、思いをくみとり会話をした。
- \*どの年齢に対してもわけ隔てなく話しかけるようにした。年齢に応じた話しかたを伝えるようにしたい。
- \*常に笑顔で接し、子どもが理解できるように、わかり易い言葉で丁寧に言葉かけを行った。子どもの話に傾聴し、相互理解を深められるように心がけた。
- \*年齢に合わせた声かけを心がけ、安心して過ごせるようにおだやかな環境作りをしてきた。今では、信頼関係を築くことができたと思う。
- \*わかりやすく、丁寧に、又、気持ちを受け止め代弁していくことを意識し行った。
- \*一人ひとりに合わせて言葉掛け等工夫していった。自分でやってみようと思えるような声掛けをしていった。
- \*衣服の着脱等、身の回りの事を自分からやってみたいと思えるよう言葉かけを工夫していった。
- \*相手が子どもだから、ではなく、同じ人として嫌な気持ちになる言い方や言葉を使わないように気をつけていった。気持ちを受け止めてもらえた、聞いてもらえたと思えるような関わりにつながるよう努めた。
- \*子どもたちの思いに寄り添いながら、毎日が楽しく過ごせるよう心掛けた。
- \*子どもたち個々に寄り添い、一人ひとりと信頼関係を築き、安心しリラックスして過ごせる環境を心がけた。様々な思いを共感したり経験の積み重ねが出来るよう配慮した。
- \*日々の生活の中で言葉遣いを意識して保育を行うようにしていた。しかし、伝えたい気持ちが強くなり、言葉がきつくなってしまうこともあった。
- \*初めて乳児クラスの担任となり、初めは乳児の関わり方について戸惑う事もあったが、クラスの保育者の関わり方を見て学び、実践する事で自分の力につながった。
- \*コロナがある中で、遊びが制限されることもあったが、様々な体験や遊びを通して楽しめるよう工夫ができたと思う。配慮の面では、自分が気付けないこともあり、学びの多い1年だった。声かけでは、分かりやすく伝えることを意識した。
- \*子どもたちの興味や意欲を大切に、活動を広げていけるよう努めた。感性や個性を認め、それぞれが自信を持って活動を行えるよう見守り、無理強いをしないよう心掛けた。

\*子どもたちに声掛けをする際に、見通しがつくように話すことを意識した。又、生活の中でより分かりやすく明確に伝えることを常に考えていた。しかし、時には意見がぶつかり感情的になってしまった部分もあったので反省している。

#### 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場を提供する

- \*衛生環境を整えることを最大限に考えた。
- \*子どもたちも保護者も毎日笑顔で元気に過ごせる保育園でありたいと思っている。その為には自分の立場で何が出来るのかももういちど考えてみようと思う。
- \*コロナ禍の中で感染防止の為、室内・玩具の消毒を徹底して行った。全ての子どもが安心して園生活を送ることが出来るように環境を整え、一人ひとりに合わせた支援を行った。
- \*感染症が流行る中、こまめに消毒を行い、児らが元気に登園できるよう行ってきた。また、ケガのないように気を付けながら、思い切り体を動かせるよう工夫して保育ができたと感じている。
- \*クラスだけでなく、視野を広げたくさん探索できるよう場所を使ったり玩具もさまざま経験できるようにした。
- \*児等が気持ちよく生活しやすいように保育室、その他の環境を整えていった。
- \*子どもが落ち着いて一日を過ごせるように、一対一での関わりを大切にしていた
- \*子どもたちがどのようにしたら居心地が良く、楽しい場になるかを考えて、クラス内でも職員と意見を出し合い、“今年度”の子どもたちに合わせた環境作りをしていった。
- \*他クラスの子どもの名前を覚え、声をかけ関わりを持つことで、たくさんの人と関わることの楽しさや安心感を感じてもらえたらと思っている。
- \*それぞれが感じる安心感や幸福について考え、関われるよう努力をし、安定的な関わりが出来るよう自身の生活も整えられるようにしている。
- \*活動への参加を嫌がる子どもに対し、その思いを受け止めるのはもちろんだが、どこまでを良しとするのかの線引きが難しく悩むことが多かった。
- \*コロナ禍という事もあり、密にならないよう場所を分けたり、席を決めたりしながら生活の場を提供していった。
- \*保護者が安心して子どもを預けられる、ということを常に考えた。又、子どもが安心して、楽しみ、成長できるかという点も考え、製作や遊びを展開させた。未だ、何が1番良いのか、試行錯誤していることもあり、今後は自身のスキルアップをし、福祉の場を提供できればと思う。
- \*新型コロナウイルスの流行等による不安が少しでも軽減出来るよう、子どもたちにも分かりやすい形で状況を伝えるようにしていった。又、甘えや感情を受け止め、安心出来る環境づくりを目指した。
- \*乳児クラス、コロナ対策として、様々な生活環境が頻繁的に変化する中、クラス内での生活を見直した。変わる度、保育士と話し合い、子どもたちにも伝えていったが、取り組む事が多くなった分、配慮がもっと必要であったと思う。(マスクや黙食について等) 混合等も。

### 一人ひとりに応じた関わりかたや配慮をする

- \* 食物アレルギー児への対応や、年齢に応じた食事を提供することができた。
- \* 手伝いに入った際は担任とは違う目線でみるようにした。
- \* 個々の成長に合わせて言葉かけや支援の度合いを配慮し、“自分で”という子どもたちの自立心や意欲を大切にし、自信が持てるように導いた。不安や甘えが見られる児には安心して過ごせるように優しく言葉かけを行った。
- \* 年齢に応じてゆったりとした雰囲気や時間を設定するなどそれぞれに合わせた保育を行った。
- \* 毎日触れ合い、話しかけ、受け止め、肯定し、ということを意識し行った。スキンシップすることの大切さを改めて感じた。
- \* 一人ひとりの成長に合わせて個別に配慮したり、自分でできることが増え自信が持てるように関わっていった。
- \* 午睡後、気持ちの切り替えがなかなか出来ずにいる児の側について気持ちを受けとめたり、寄り添ったりしていった。
- \* 個人差、性格、怪我をしやすい等のそれぞれの様子に配慮しながら、全員がなるべく無理することなく集団での生活の中で過ごしていけるように努めていった。
- \* 個性豊かなクラスで、一人ひとりの姿や対応、関わり方を担任で話し合いながら保育をすすめていった。
- \* 一人ひとりの成長、発達に合わせ、受容と見守り、援助のバランスを考えて関わり、自立を促しながら、子どもたちの自信へつなげて行けるようにすることが出来た。
- \* 子ども一人ひとりの性格や状況を見極め、その時、その子に適した関わりをしていくことができた。
- \* 配慮の必要な児に対して、困った事や分からない事をクラスで相談し、次の日に行ったりと個々に合った対応が出来るよう心掛けた。
- \* 子どもの性格等を理解し、場面に応じて関わり方を考えた。はじめはどう接して良いかわからないことも多くあったが、先輩方の対応を見て学ぶことが多かった。又、体調、気温など子どもの変化などでも関わり方を配慮するよう努めた。
- \* 個々の発達や思いに気づき、出来る限り応えられるよう努力をしていった。要求の強い児ばかりに目を向けるのではなく、控えめな児に対しても声掛けをしていく等の配慮を行った。
- \* 一人ひとり、性格や気持ちに違いがあるので、出来る限り、個々の関わりは大切にしていこうと心掛けた。しかし、集団として活動している中で配慮しきれていない部分もあり、正直もどかしくも感じた。子どもたちと向き合う時間が十分にとれないことがある。自分自身の技術不足でもあるので改善したい。

### 養護と教育が一体となった保育を展開する

- \* 子どもたちが家庭の延長線上で過ごせる安心・安全な場を意識した。保育園でうけられる教育とは？をもう少し考えたい。



- \* 安心出来る環境を整えた上で挨拶や身支度等出来ることを増やしていけるように導いた。リズム体操・外遊び等で身体を十分に動かせるように配慮した。進級に向けて集団で活動する時間を増やした。
- \* 児らの思いを受け止めながら、ダメなことはしっかりと根気よく伝え、他児や保育士との関わりを楽しめるような保育を心がけた。
- \* 共に遊び笑い、怒り、「子どもたちと一緒に」ということを心がけ行った。
- \* 一人ひとりの関わりを大切にしながら友だちと関わることの楽しさが感じられるように関わっていた。
- \* 日中パンツで過ごす児も何人かいた為、遊びを妨げないよう児のタイミングを見て、トイレへ誘い促していった。
- \* 子どもを預かり、家庭内だけでは出来ない様々な経験を通し、子どもの成長を保護者と連携しながら見守る。年齢に応じて、基本的生活習慣が身に付いていくよう段階的に進めていった。
- \* 発表会の練習では、少人数で取り組むこともしたが、子ども同士で教え合う姿があり、みんなでやりとげた達成感を味わうことができた。
- \* 子どもたちに受容的かつ応答的に関わり、安心して日々を過ごせるように心がけ、一人ひとりの感じる心を育めるよう、まわりの自然と関わったり、感触遊びや製作を行った。
- \* 子どもの思いを聞きとり受け止めつつ、問題の解決については自分たちで行っていけるよう見守る保育を行うようにした。難しい所では声を掛けつつも、自分たちで解決できると納得して気持ちを切り替えらる姿があり良かった。
- \* 個々の発達や心の動きや変化に合わせた関わりが出来るようにした。児の思いを受け止め、言葉で丁寧に伝えていけるようにしていった。
- \* 安心して過ごせるよう、子どもとの関わりを大切に、少し難しい遊びに誘う等、子どもの成長が見られるよう関わりを持った。情緒の安定を図りながら、子どもが保育者の手をかりず、遊びに参加したり、身支度ができるように保育内容を考えることができるようになった。
- \* 進級に向けて身につけたい事等を生活の中でくり返し伝えるようにしていった。物の管理や整頓、自分の思いの伝え方や表現を子ども自身で考えながら行えるよう知らせていった。
- \* 体も心も成長している中で、「自分でどのようにしたいか、今何をしたいのか」と自分で考える機会を設けてきた。まだ答えを出しきることが出来なかつたり、表現出来ない児もいるので一緒に考えたり、答えを分かりやすく2択にしたりと、自分で答えが出せるよう関わっていった。

#### 人的環境・物的環境・空間・自然や社会現象など工夫する

- \* 誕生会では、おやつに旗を立てたり、行事食では、子ども達が喜ぶ食事を提供することができた。
- \* コロナ禍で消毒する場所やタイミング等他の職員と相談しながら行った。
- \* 子どもたちが安心・安全に過ごすことが出来るように保育室内の物の置き場、保育者の位置に配慮した。外遊びの時には季節の変化を伝えられるよう、虫・畑の作物・霜柱等を紹介し、自然現象を感じ

られるようにした。

- \*体の動きと成長に合わせた運動遊びの展開や、まだ経験したことがないだろう現象（水あそび・雪あそび）などに積極的に取り組んでいった。
- \*人的環境がとても大きく大切なものということを感じた。現状でもたくさんのものに触れ、感じ、楽しむことができるよう意識し行った。
- \*色々な素材や季節に合った題材を選び、児等が「やってみたい」と思えるように工夫していった。
- \*季節の変化を感じられるよう壁面装飾をしたり、室内遊びの際は、他の保育室も活用し、遊びを展開していった。
- \*四季に合わせた行事を知り、会に参加して楽しんだり、製作をこまめに行い、季節を感じるができるよう保育を展開した。また、子どもの目線に合わせ、生活がしやすい、わかりやすいよう、室内の環境を整えていった。
- \*コロナ禍や夏の厳しい暑さの中でも出来ることを考えた。散歩の回数が減ったりクッキング等難しいものはあったが、畑のじゃがいも・さつまいもも豊作、きゅうり、大根も収穫したり草花で遊んだり四季を感じながら過ごすことができた。
- \*清潔で安全な環境を整え、子どもたちが主体的に関われる遊びの環境や生活の動線を他の職員と協力し整えることが出来た。
- \*子どものやりたい思いを叶えられるよう環境を整えていったり、季節や成長を考え、経験して欲しいことを取り入れた活動を考えるようにした。
- \*友達同士の関わりが増え、トラブル等多く見られるようになったが、その都度言葉で伝えていけるよう仲介していった。園庭や散歩先にて自然に多く触れられるよう共に観察したり探索出来るよう関わった。
- \*危険な箇所を見直したり、遊びに使えるものは取り入れるようにした。又、外に出た際には、自然について話したり、子どもに伝えていくことで、外へ行くことを楽しめるようにできた。
- \*社会情勢等により保育の内容にも制限が多い1年であった。その中でも今、出来る事や子どもたちが関心を持っている事に気づき、活動を行うようにしていった。
- \*コロナ対策をしながら、どのように保育、生活していくか、保育士同士で意見を出し合うことで自分が気付かなかったことにも気付くことが出来、改善していった。又、自然環境では、園舎自体が影響が出やすい環境にあるので常に気をつけていきたい。

#### 保護者・家庭との緊密な連携を持ち支援する

- \*子どもたちが抱える家庭環境や保護者の様子等を考え支援策を考えるようにした。
- \*保護者との情報交換を大切にし、子ども一人ひとりの日々の変化に配慮した。担任同士の連絡・報告も密に行い、クラス内で情報の漏れがないように注意した。特に食事・午睡時間に配慮し、保護者と共に子どもの体調管理に努めた。
- \*家庭での様子や取り組みを聞き、園での様子を伝えることで児らの成長を共に喜びわかち合うこと

で信頼関係を築くよう心がけた。

\*説明・対応不足は多々あったと思うが、ご理解ご協力を多々して頂いたと思う。

\*園での様子を伝えたり、家庭での様子や気になることなどを伺い、家庭と園との連携をとるよう心掛けた。

\*登園時、子どもの様子を聞いたり、降園時には一日の様子やできた事等を丁寧に伝えていった。

\*連絡帳に加え、行事、製作時だけでなく、普段の保育の様子を時折、写真を撮り、掲示することによって園での様子を更に知ってもらったり、保護者と子どもの間で会話の材料になるよう考え、行った。

\*コロナ禍、必要最低限でのコミュニケーションとなる中で、できる限り会話をし、信頼を得られるよう心掛けた。

\*子育てパートナーとして保護者へ寄り添う努力をしつつ、日中の様子を伝えたり、必要な援助を求めるなどし、子どもの利益も守れるように心がけた。

\*保護者が安心して子どもを預けられるよう信頼関係を築けるように努めていった。状況等説明をする中で、上手く伝えられず、困惑させてしまうこともあり、言葉選び等のスキルがもっと必要だと感じた。

\*保護者との関わりの中で、その日の子どもたちの様子や成長した面など伝えられるようにしていった。

\*家庭との連携がとても重要であることに気付くことが出来た。又、毎朝の様子や休日の過ごし方を知ることで、保育中どのように関わればいいのか考えることができた。はじめは緊張することが多くあったが、日を重ねるごとに、相談などもしてくれるようになり、来年度はもっと緊密な関係が築けるようにしたい。

\*健康状態や怪我の報告の他、子どもの表情やつぶやきの中で気になる事があった時は様子を伝え、確認を行った。又、保護者と共に成長を見守る姿勢に努めていった。

\*信頼の積み重ねだと、日々、心がけている。日々子どもたちの成長や変化を共有することによって、保護者と連携を取れるよう意識した。又、保護者自身の気持ちにも寄り添い、子どもを思う気持ちや子育ての大変さも共有していきたいと思っている。

#### 資質向上を考え研修を受ける

\*神奈川県保育エキスパート等研修の食育・アレルギー対応を受講できた。コロナ禍での食育の進め方、また、アレルギーについての心構え等勉強になった。

\*食物アレルギーについての研修を受け、疑問点などを理解し、仕事に活かすことができた。

\*リモートをうまく活用しながら職員がキャリアアップ研修等参加出来るようにした、来年度はもう少し増やしたい。

\*アレルギー児対応の研修を2回受講できたので、園内研修を行う等の機会を設け、他職員と情報共有できるようにする。

- \* コロナ禍であったため、今回は研修を受けることがかなわず、残念でならない。
- \* 園外の研修は行くことがなかったが、園内での日々の保育、話し合いの中で学ぶこと、保育を振り返ることはできたと思う。
- \* コロナウイルス流行中のため、園外の研修に参加できず残念であった。
- \* エピペンを使用すべき症状や使い方、アレルギー児への対応等、研修を通して学ぶことができた。
- \* 療育センターでの研修や保護者支援、子育て支援についての研修を受けさせていただき、自身の保育や人との関わりを見直すことができた。自身だけでなく、他職員に研修報告し、特に同じクラスの職員には学んだことを共有できるよう努めた。
- \* 幼保小の会議などに参加でき、勉強になった。
- \* 園内研修では、書類や保護者対応などの基本へ立ち返り、学びを実践に活かすことが出来た。
- \* 今年度は外部研修への参加はほとんどなかったが、防災係として自分から園内研修を開く機会を多く持て、相手に伝える難しさ、また新しく知る知識も増え、良い経験となった。
- \* 応急処置について学び、防災係として、園内研修で行う事が出来た。
- \* アレルギー対応の研修を受けた。現在行っている対策の足りないところや、過剰なところ、良いところがわかった。エピペンの使い方も知れて、とてもためになった。アレルギーを持つ子は多く、今後も今年度工夫したことを生かしていきたい。
- \* 外部の研修については今年度の受講は出来なかった。園内研修への参加、及び、進行係として資料の作成を行う中で学びが多くあった。又、日々の保育で必要な事等を自分なりに調べ、活かせるよう、心掛けた。
- \* 当たり前になっていた業務、ちょっとした違和感に対して、園内研修の中で様々な職種・視点から考えや意見が出てきて、その度改善されていくことが大切であることを、今年度の研修で再確認した。

### 「園としての自己評価」

皆さまからたくさんいただきましたご意見や感想、職員の自己評価を読み、来年度もお子さん一人ひとりを尊重していくこと、そして、コロナ禍での保育はまだ続くと考えますので、安心安全な保育環境を整えることを大前提とし、その上で以下3点について目標を掲げ、保育を進めてまいりたいと思います。また、職員の働く環境や処遇といったところにも注視し、少しでも改善していきたいと思います。来年度もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

- ① 豊かな自然に囲まれた環境を活かした保育
- ② 食育、季節の行事を大切にした保育
- ③ 地域との触れ合いを大切にした保育